

《平成29年度教育連携協議会教育連携事業》
高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業の聴講
実施要項

1 目的

高校と大学は、高校の生徒に対して大学の授業の聴講を認めることにより、特定の分野について高い能力と強い意欲を持ち、高等学校レベルの内容にとどまらず様々な教育を受けることを希望する生徒に大学レベルの教育を履修する機会を与える。それによって、個々人の持つ多様で特色ある能力や個性を効果的に伸ばすとともに、生徒自らの進路決定への意識的な取り組みの促進を図ることを目的とする。

2 聴講科目

- 開講学部：文学部・教育学部・法学部・理学部・医学部・歯学部・薬学部・環境理工学部・農学部
- 授業期間：第1学期 4月10日 ～ 6月7日
第2学期 6月12日 ～ 8月7日
第3学期 10月2日 ～ 11月29日
第4学期 12月4日 ～ 2月9日
※補講については、土曜日を含め、授業担当教員が指定した日
- 時 限：6時限（15：10～16：10）
7時限（16：20～17：20）
8時限（17：30～18：30）
- 開講授業科目
：開講授業科目は別紙参照（本学ホームページよりシラバス閲覧可能）
シラバス確認→http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

3 受入れ人数及び受入れ条件

受入れ人数は、授業科目毎に定められた人数（別紙参照）とする。
受入れ条件は、高校の校長からの推薦を受けた生徒とする。

4 聴講の申込み及び聴講の決定

高校は、聴講を希望する生徒のうち校長の推薦を受けた生徒について、推薦書（所定様式を希望学部ごとに1枚ずつ分けて作成する）を添付して、第1学期・第2学期は平成29年3月3日までに、第3学期・第4学期は平成29年9月1日までに大学に申込む。大学は、聴講を許可する生徒を決定し、第1学期・第2学期は平成29年3月24日までに、第3学期・第4学期は平成29年9月22日までに高校に通知する。

5 聴講証

大学は、聴講証を発行しない。聴講する生徒は、高校の発行する生徒手帳を携行し、これをもって聴講証とする。

6 成績の評価

大学は、高校の生徒が聴講した授業科目の成績評価は行わない。ただし、授業の出欠状況が良好な生徒については、修了証書を発行する。

なお、本事業で聴講した科目について、高校の学校設定教科として単位認定を行うかどうかは、各高等学校の判断によるものとする。

7 聴講の費用

聴講料は、無料とする。ただし、授業に使用するテキスト代及び授業にかかるその他の費用は、生徒各自が負担する。

8 事故の免責

聴講中の不慮の災害事故及び聴講のための通学途中における事故等については、高校が傷害保険等に加入して責任を負い、大学は責任を問われない。

担当・問い合わせ先
岡山大学学務企画課総務・企画グループ 成本・長尾・廣門
TEL 086-251-7186 FAX 086-251-8440
koudai@adm.okayama-u.ac.jp

平成29年度「高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業」学部別科目一覧

【文学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備 考
学期	曜日	時限					
第3	月	7・8	専 門 科 目	人文学概説(日 本思想史a)	本村 昌文	10	
第4	月	7・8	専 門 科 目	人文学概説(日 本思想史b)	本村 昌文	10	

【教育学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備 考
学期	曜日	時限					
第1	月	7・8	専 門 科 目	工芸 I (1)	山本 和史 清田 哲男	2~3	第2学期の工芸 I (2)もあわせて受講すること。
第2	月	7・8	専 門 科 目	工芸 I (2)	山本 和史 清田 哲男	2~3	第1学期の工芸 I (1)もあわせて受講すること。
第1	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指 導法A(1)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第2学期の中等社会科指導法A(2)もあわせて受講すること。
第2	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指 導法A(2)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第1学期の中等社会科指導法A(1)もあわせて受講すること。
第1	火	7・8	専 門 科 目	世界史概論(1)	飯田 洋介	若干人	第2学期の世界史概論(2)もあわせて受講すること。
第2	火	7・8	専 門 科 目	世界史概論(2)	飯田 洋介	若干人	第1学期の世界史概論(1)もあわせて受講すること。
第1	木	7・8	専 門 科 目	経済学概論(国 際経済を含む) (1)	大熊 正哲	制限無	第2学期の経済学概論(国際経済を含む)(2)もあわせて受講すること。
第2	木	7・8	専 門 科 目	経済学概論(国 際経済を含む) (2)	大熊 正哲	制限無	第1学期の経済学概論(国際経済を含む)(1)もあわせて受講すること。
第3	月	7・8	専 門 科 目	気象学(1)	加藤 内藏進	若干人	第4学期の気象学(2)もあわせて受講すること。
第4	月	7・8	専 門 科 目	気象学(2)	加藤 内藏進	若干人	第3学期の気象学(1)もあわせて受講すること。
第3	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指 導法B(1)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第4学期の中等社会科指導法B(2)もあわせて受講すること。
第4	火	7・8	専 門 科 目	中等社会科指 導法B(2)	桑原 敏典 山田 秀和	若干人	第3学期の中等社会科指導法B(1)もあわせて受講すること。
第3	火	7・8	専 門 科 目	知的障害者生 理・病理学概論 (1)	大守 伊織	10	第4学期の知的障害者生理・病理学概論(2)もあわせて受講すること。
第4	火	7・8	専 門 科 目	知的障害者生 理・病理学概論 (2)	大守 伊織	10	第3学期の知的障害者生理・病理学概論(1)もあわせて受講すること。

【法学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	火	7・8	専門科目	現代政治入門	成廣 孝	20	
第1	木	7・8	専門科目	現代政治分析a	上神 貴佳	5	

【理学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 I a	吉野 雄二	若干人	2学期の現代数学要論Ibと合わせて履修してください。
第2	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 I b	吉野 雄二	若干人	1学期の現代数学要論Iaと合わせて履修してください。
第1	金	7・8	専門科目	分子生物学 I A	富永 晃	10	2学期の分子生物学IBと合わせて履修してください。
第2	金	7・8	専門科目	分子生物学 I B	富永 晃	10	1学期の分子生物学IAと合わせて履修してください。
第3	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 II a	吉野 雄二	若干人	4学期の現代数学要論IIbと合わせて履修してください。
第4	金	7・8	専門基礎科目	現代数学要論 II b	吉野 雄二	若干人	3学期の現代数学要論IIaと合わせて履修してください。
第4	木	7・8	専門科目	地形学概説	隈元 崇	若干人	

【医学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	水	6	専門基礎科目	医学概論	松川 昭博	10	
第2	水	7・8	専門基礎科目	形態・機能学 II	田口 勇仁	5	1学期「形態・機能学 I」、2学期「形態・機能学 II」IとIIの連続性なし。

【歯学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3・4	火	6・7	専門基礎科目	細胞生物学	久保田 聡 他	5	第3学期, 第4学期の連続開講。

【薬学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第1	火	7・8	専門基礎科目	有機化学1	竹内 靖雄	若干人	帰宅時間が遅くなるため, 安全に配慮し, 高校もしくは保護者の送迎が可能な学生に限定します。

【環境理工学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3	火	7・8	専門科目	環境分析化学 I	加藤 嘉英	5	

【農学部】

開 講			科目区分	授業科目名	担当者名	受入 可能 人数	備考
学期	曜日	時限					
第3	火	7・8	専門基礎科目	基礎分子生物学1	牛島 幸一郎	5	基礎分子生物学1と基礎分子生物学2は、連続性のある授業です。
第4	火	7・8	専門基礎科目	基礎分子生物学2	牛島 幸一郎	5	基礎分子生物学1と基礎分子生物学2は、連続性のある授業です。
第3	金	7・8	専門科目	栄養生化学1	森田 英利	5	栄養生化学1と栄養生化学2は、連続性のある授業です。
第4	金	7・8	専門科目	栄養生化学2	鶴田 剛司	5	栄養生化学1と栄養生化学2は、連続性のある授業です。